

平成 24 年度 事業報告

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)



公益財団法人九州経済調査協会
KYUSHU ECONOMIC RESEARCH CENTER

平成 24 年度 事業報告

事業報告

寄付行為第 5 条に基づき、平成 24 年度は、次の事業を実施した。(総括)

1. 地域経済研究事業 (1) 自主研究事業 ①九州経済白書 ②九州経済調査月報 ③データ九州 (九州経済調査月報付録) ④図説九州経済 ⑤メールマガジン (九経調ニュースレター) (2) 受託研究事業
2. 講演会・セミナー事業 (1) 九州各地での講演会・セミナー等 ①九州経済白書説明会 ②九州経済白書関連の講演 ③九経調セミナー ④調査技法セミナー ⑤国の機関および自治体、駐日外国公館等との意見交換会 ⑥その他の外部講演 (当会研究員が講師を務めた講演) (2) 外部講師による講演会 ①九経調参与会 ②九経調交流会 ③経済講演会 ④アジア経済講演会
3. BIZCOLI 事業 (1) ビジネスの最新情報・アイデアの提供 (2) ビジネス人脈形成 (3) スキルアップのための個室空間の提供 (4) セミナーの開催 ①九経調イブニングセミナー ②BIZCOLI TALK (月報報告会) ③経営・スキルアップに関するセミナー ④まちづくりに関するセミナー ⑤その他のセミナー (5) セミナー開催協力
4. 経済団体等支援事業 (1) 福岡経済同友会の事務局 (2) 地域経営を考える政策懇談会 (九州経済を考える懇談会) の共同事務局 (3) アジア半導体機構 (ASTSA) の事務局 (4) 地域政策デザイナー養成講座の事務局 (5) 九州ソーラーネットワーク (SONEQ) の共同事務局 (6) 九州 PPP センターの活動支援 (7) 専門図書館九州地区協議会の事務局
5. 社会貢献活動等 委員会等委員派遣、非常勤講師派遣、テレビ・ラジオ出演、新聞・雑誌掲載、国内会議等への参加、国際会議等への参加、インターンシップ受入
6. 組織運営の基盤強化 (1) 賛助会員 (2) BIZCOLI 会員 (3) 公益法人改革への対応

1. 地域経済研究事業

(1) 自主研究事業

自主研究では、ニーズを汲み取りながら時宜を得たテーマを設定し、会員や地域に役に立つ実践的な調査研究を推進した。成果物は、定期刊行物等を通じて公表した。46回目となる2013年版九州経済白書は、「アジア最前線 九州のグローバル戦略」をテーマに2月に刊行した。九州経済調査月報は、テーマを設定して、毎号一体性を持たせた編集を行った。誌面もわかりやすさと見やすさを重視して、質の向上に努めた。景気動向分析は、これまで3ヵ月に一度行っていた公表を、毎月コンパクトに提供する体制に変更し、よりタイムリーで簡潔に景気の現状を把握できるようにした。データ九州と図説九州経済は、例年通り刊行した。

①九州経済白書

2013年版九州経済白書「アジア最前線 九州のグローバル戦略」 2月刊行

②九州経済調査月報

5月号 4/23 発行	(特 集) 熊本市、政令指定都市へ (Report) 政令市熊本の交通体系と中心市街地の再デザイン 熊本市の産業構造とポテンシャル (One Point 解説) 2011年の生産活動、太陽光、住宅、海外向け産業機械で拡大
6月号 5/30 発行	(特 集) 自動車産業 (Report) 変革期にある日本自動車産業の展望 中部地域の中小自動車部品メーカーの課題と九州への期待 九州の自動車産業における地場企業の開発機能強化の必要性 (九州の景気) 回復続くも、生産部門の増勢に一服感 (One Point 解説) 高学歴就業者の比率低い九州・山口
7月号 6/22 発行	(特 集) 太陽光発電 (Report) 全量買取制度導入に伴う九州での非住宅向け太陽光発電システムの展開可能性 (One Point 解説) 高い九州の住宅用太陽光発電システム普及率
8月号 7/27 発行	(特 集) 異業種参入 (Report) 九州における異業種参入の実態 (BIZCOLI まちセミナー特別企画) 「渡辺通りより愛をこめて」 ～福岡のまちの開拓者、渡邊與八郎を語る～ (One Point 解説) 活発に動き始めた九州の土地取引
9月号 8/28 発行	(特 集) コンテンツ・クリエイティブ産業 (Report) 取引構造からみる福岡市のコンテンツ産業の可能性 クリエイティブを巡るしくみの転換ー福岡のクリエイターサバイバル術 (九州の景気) 回復続くも、変調の兆し (One Point 解説) facebook から”寛容”な街を探す
10月号 9/27 発行	(特 集) 半導体産業 (Report) 九州の半導体産業の発展系譜と行方 2012年度九州経済の見通し(改訂) 九州の経済成長率1.4%に上方修正 (BIZCOLI まちセミナー特別企画) 「くまモン」のひみつ (One Point 解説) 進んでいない九州の外国人看護師・介護士候補者の受入

11月号 10/24 発行	(特 集) PFI・PPP (Report) 九州におけるPFI・PPPの可能性 (One Point 解説) 若者の趣味への支出～九州・山口の10都市の若者アンケート調査～
12月号 11/28 発行	(特 集) ハラルビジネス (Report) 九州・山口のハラルビジネス (九州の景気) 回復の動きに足踏み (One Point 解説) 若者に選ばれている施設・店舗はどこか ～九州・沖縄・山口10都市の若者アンケート～
1月号 12/26 発行	(特 集) 流通業 (Report) 大規模商業店舗立地の変化と商業空白地へのアプローチ (One Point 解説) 都市圏の減少と変質するベッドタウン ～総務省「国勢調査報告」従業地・通学地による人口・産業等集計より～
2月号 1/29 発行	(特 集) ブライダル産業 (Report) 九州における婚礼産業の未来 九州の婚礼産業事業戦略 2013年度九州経済の見通し 設備投資と外需が主導し1.9%成長 (One Point 解説) 九州でも続々と開催される“街コン”
3月号 2/26 発行	(特 集) アジアの高齢化 (Report) アジアの高齢化と介護ビジネスの展開～九州からアプローチする意義～ (BIZCOLI 第34回九経調イブニングセミナー講演録) ‘ハラル’で九州を元気にする！ (One Point 解説) 九州・沖縄の人口移動一転出超過に転じる ～総務省「住民基本台帳人口移動報告」より
4月号 3/28 発行	(特 集) 国際リニアコライダー (Report) 【講演録】「国際リニアコライダーは地域をどう変えるのか」 国際リニアコライダーの誘致効果 (連 載) 九州進出 Insight 第1回 株式会社東急ハンズ博多店 ～地域に愛される“ヒント”の提供 POS データから読み解く九州の消費 第1回 消費の地域性がわかる POS データ

③データ九州（九州経済調査月報付録）

(No1140)	九州・沖縄・山口10都市の若者に対するアンケート
(No1141)	九州・山口の都市圏2010
(No1142)	九州・山口地場企業の海外進出2012
(No1143)	九州・山口企業の海外拠点に関するアンケート調査 2013年版九州経済白書「アジア最前線 九州のグローバル戦略」アンケート詳細

④図説九州経済

図説九州経済 2013 10月刊行

⑤メールマガジン（九経調ニュースレター）

メールマガジン配信件数 122件（2012.4.1～2013.3.29）

(2) 受託研究事業

平成 24 年度の国や地方自治体等からの受託研究は 79 件であった。調査獲得に努めるとともに、信頼・実績を評価した調査の相談が数多く寄せられた結果、過去最高件数となった。

平成 24 年度の特徴として、「再生可能エネルギー固定価格買取制度」の施行に伴う研究がある。メガソーラーの関連産業等創出を目指す「メガソーラー関連産業等創出支援事業」をはじめ、再生可能エネルギー事業に参入する企業等を支援する交流会やビジネスコンテスト等の企画・運営事業に取り組んだ。

さらに、平成 24 年度より沖縄関連の調査案件の企画コンペ等へ積極的に参加した結果、平成 24 年度は 2 件（沖縄県「揮発油税及び地方揮発油税の軽減措置の政策効果検証調査」、沖縄振興開発金融公庫「政策金融評価の支援業務」）の受託につなげることができた。

そして、地元経済 4 団体のトップが一堂に会する「地域経営を考える政策懇談会」や、次世代を担う地域の人材育成を目的とした九州大学セミナー「地域政策デザイナー養成講座」支援事業、九州 7 県と福岡市、および観光関連の民間企業・団体が一体となった地域活性化特区に係る業務など広く地域経済に資する取り組みも継続して行った。

地元の企業間及び産官学をつなぐ組織の事務局業務も行っている。これまでの「アジア半導体機構（ASTSA）」、太陽光発電産業の産官学連携組織「九州ソーラーネットワーク（SONEQ）」に加え、福岡市の公共事業に民間活力を導入するための「地域密着型 PPP」の仕組みづくりの事務局運営およびその支援を行った。

景気関連では、内閣府の景気ウォッチャー調査を継続して行っているほか、3 年間にわたり内閣府と開発してきた地域別支出総合指数（RDEI）が公表されるに至った。

【分野別受託研究一覧】

(景気分析)		
1	地域ブロック別支出指標(RDEI)の作成・分析・検証業務	内閣府
2	景気ウォッチャー調査に伴う作業（九州地域）	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株)（内閣府）
3	*****	***
(地域振興)		
4	基礎自治体の行財政基盤強化に関する調査	(社)九州経済連合会
5	地域経営を考える政策懇談会	(一財)九州地域産業活性化センター
6	*****	***
7	地域政策デザイナー養成講座支援事業	地域政策デザイナー養成講座実行委員会
8	健康日本 21 福岡市計画の策定支援	福岡市
9	北九州における物流関連産業の経済波及効果等調査	北九州市
10	久留米市の企業誘致に関する調査	久留米市
11	地域経済構造分析調査	佐賀市

12	揮発油税及び地方揮発油税の軽減措置の政策効果検証調査	(株)りゅうぎん総合研究所 (沖縄県)
13	西鉄大牟田線沿線主要駅のまちづくりビジョン作成業務	(株)九州産業研究所 (西日本鉄道株)
14	対馬市水資源活用事業基礎調査	対馬市
15	人口減少がもたらす影響度調査	北九州市
(産業振興)		
①産業全般		
16	九州地域における成長産業育成支援 (3事業等施策活用)可能性調査事業	(独)中小企業基盤整備機構九州地域本部
17	自立的発展のための産業融合型経済構造研究会支援	(一財)九州地域産業活性化センター
18	北九州市新成長戦略会議に伴う調査業務	北九州市
19	飯塚市産業振興構想策定支援業務	飯塚市
②電子部品・デバイス関連		
20	九州半導体関連企業サプライチェーンの体系化調査	九州半導体エレクトロニクス・イノベーション協議会
21	北九州市におけるパワーエレクトロニクス産業基礎調査	北九州市
22	九州大学有機 EL 開発プロジェクトの事業化調査	DBJ キャピタル(株)
23	LED アプリケーション創出協議会関連基礎調査	(財)北九州産業学術推進機構産学連携センター
③環境・エネルギー		
24	平成 24 年度 地域新成長産業創出促進事業補助金(地域新成長産業群創出事業)～メガソーラー関連産業等創出支援事業～①地域新成長産業群創出基盤形成事業	九州経済産業局
25	平成 24 年度 地域新成長産業創出促進事業補助金(地域新成長産業群創出事業)～メガソーラー関連産業等創出支援事業～②ビジネスマッチング事業	九州経済産業局
26	平成 24 年度 地域新成長産業創出促進事業補助金(地域新成長産業群創出事業)～メガソーラー関連産業等創出支援事業～③先導的・試行的事業	九州経済産業局
27	九州ソーラーネットワーク事務局運営	九州ソーラーネットワーク (SONEQ) 事務局
28	太陽エネルギー分野知財ワークショップ	九州経済産業局
29	産学官民が一体となったアジア地域への低炭素技術輸出に関する調査	(一財)九州地域産業活性化センター
30	福岡県再生可能エネルギー導入等支援システム構築に係る監理業務	福岡県
31	九州版炭素マイレージ制度の検討調査	大分県
32	バイオマス繊維を混合した強化プラスチックのアプリケーションの市場調査	DBJ キャピタル(株)
33	スマートコミュニティ構想普及支援事業調査業務	熊本県小国町
34	小国町の地熱発電可能性調査	熊本県小国町
35	北九州市スマートコミュニティ創造事業経済波及効果に関する調査業務委託	北九州市
④観光		
36	総合特区への申請手続き等の支援業務	九州観光推進機構
37	海外向け九州観光ブランドづくりに係る基礎調査	九州観光推進機構
38	福岡市観光入込客統計調査業務	福岡市
39	博多座の経済波及効果	福岡市
40	福岡市における集客装置としての文化施設経済的評価分析業務	福岡市

41	福岡市で開催される音楽イベントの経済波及効果調査	福岡市
42	クルーズ客船寄港による経済効果調査	福岡市
43	事業が与える佐世保市への税収効果	佐世保市
44	JTB九州観光ネットワーク推進協議会支援業務	JTB九州観光ネットワーク推進協議会
45	宮崎県観光客二次交通網実態調査	宮崎県
46	九州観光客満足度調査	九州観光推進機構
47	ワールドラグビーフェスティバル福岡開催による経済波及効果調査	2012ゴールデンオーラル・ワールドラグビーフェスティバル福岡実行委員会
⑤農林水産		
48	青果市場経営展望策定業務	福岡市
49	地産地消の推進と『北九州「海の幸」「山の幸」を愛する会』の今後の活動のあり方についての調査	北九州市
⑥医療・福祉		
50	老人クラブ活動活性化事業	(有)照健
51	超高齢社会に対応した社会システム再構築に関する支援業務	(公財)福岡アジア都市研究所 (福岡市 企画調整部)
52	少子高齢化時代の看護教育モデルづくり	(学)麻生塾 (文部科学省)
53	2030年代をみすえた機能統合型コミュニティ形成事業	(独法)科学技術振興機構 (JST) 社会技術研究開発センター
⑦新産業・その他		
54	福岡市組込みソフトウェア開発関連企業基礎調査	福岡市
55	ものづくり力強化のためのRT等活用に関する調査	北九州市
56	九州地域ブロック調査に係る業務	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)
57	*****	***
58	ロボット関連システムインテグレータ実態調査	(財)北九州産業学術推進機構産学連携センター
59	北九州市ロボット産業振興指針の策定	北九州市
60	国際技術市場動向調査資料作成業務	(財)福岡県産業・科学技術振興財団
(社会資本)		
61	筑後川水源保全計画検討専門会議運営業務	(社)北部九州河川利用協会
62	松浦鉄道沿線地域の交通のあり方調査研究業務	佐世保市 (松浦鉄道自治体連絡協議会)
63	改正PFI法に係る民間事業者からの実施方針提案への対応方針等調査検討業務委託	福岡市
64	PPPプラットフォーム運営業務	福岡市
65	*****	***
66	博多港の経済効果に係る調査	福岡市
(雇用・人材育成等)		
67	福岡における人材育成に係る施策の実態調査	福岡市
68	福岡県立高等技術専門校の整備・運営方針にかかる訓練科目見直し内容の分析	福岡県
69	「少子高齢化・雇用委員会」運営支援業務	(社)九州経済連合会
70	「戦略産業雇用創造プロジェクト」構想書策定に係る調査研究	福岡県

(アジア戦略)		
71	半導体関連産業の海外ビジネス支援事業	九州半導体エレクトロニクス・イノベーション協議会
72	インド産業交流・企業発掘調査	福岡市
73	ミャンマー交流可能性調査業務	北九州市
(その他)		
74	政策金融評価に係る調査・分析等支援業務	沖縄振興開発金融公庫
75	熊本県内中小企業の金融と経営課題に関する意向調査	熊本県
76	「い〜な」ふくおかワーク・ライフ・バランスネットワーク形成事業支援	福岡市
(シンポジウム等)		
77	The 12th International Workshop on Microelectronics Assembling and Packaging	アジア半導体機構 (ASTSA)
78	2012BRIT (Border Regions In Transition) 世界大会 福岡・釜山招致に係る業務	北海道大学スラブ研究センター
79	九州・国際テクノフェア 2012 セミナー支援業務	(公財)西日本産業貿易コンベンション協会

2. 講演会・セミナー事業

(1)九州各地での講演会・セミナー等

当会研究員が説明者となり、九州各地で開催する①九州経済白書説明会や、②九州経済白書関連の講演、福岡以外の各地で開催する③九経調セミナー、シンクタンク研究員を集めて開催する④調査技法セミナー、⑤国の機関および自治体、駐日外国公館等との意見交換会、⑥その他の外部講演を平成 24 年度は合わせて 101 件開催した。

①九州経済白書説明会(計 11 件)

日程	会場	共催(主催)・後援	報告者	参加者数
2月28日	福岡(福岡銀行本店)	株ふくおかフィナンシャルグループ 福岡商工会議所 株FFGビジネスコンサルティング	加峯次長	207人
3月4日	大分(大分銀行本店)	株大分銀行 株大銀経済経営研究所	加峯次長	50人
3月6日	沖縄(ロワジュールホテル&スパ タワー那覇)	株沖縄銀行 株おさぎん経済研究所	加峯次長	40人
3月8日	宮崎(第一宮銀ビル)	株宮崎銀行 株みやぎん経済研究所	田代部長	50人
3月11日	長崎(十八銀行本店)	株十八銀行 株長崎経済研究所	田代部長	73人
3月12日	北九州(毎日西部会館)	株ふくおかフィナンシャルグループ (一社)西日本工業倶楽部 北九州商工会議所 株FFGビジネスコンサルティング	加峯次長	81人
3月13日	佐賀(佐賀銀行本店)	株佐賀銀行	田代部長	30人

3月14日	佐世保（FFG 佐世保ビル）	株式会社おまかファイナンシャルグループ 株式会社親和銀行 佐世保商工会議所 株式会社FFGビジネスコンサルティング	加峯次長	45人
3月18日	鹿児島（鹿児島銀行本店別館ホール）	株式会社鹿児島銀行 株式会社鹿児島経済研究所	加峯次長	50人
3月21日	久留米（筑邦銀行本店）	株式会社筑邦銀行 久留米商工会議所 株式会社ちくぎん地域経済研究所	加峯次長	73人
3月22日	熊本（肥後銀行熊本駅前支店）	株式会社肥後銀行 （公財）地方経済総合研究所 熊本経済同友会	田代部長	46人

注) 平成25年4月3日、下関（シーモールパレス）、株式会社山口銀行、（一財）山口経済研究所。
加峯次長報告

②九州経済白書関連の講演(計13件)(要請に応じて当会研究員を派遣)

日程	依頼先	講師	参加者数
4月13日	日本証券アナリスト協会	加峯次長	15人
4月16日	九州電力株式会社	加峯次長	60人
4月20日	三菱電機株式会社九州支社	加峯次長	65人
4月27日	山鹿市企業連絡協議会	加峯次長	65人
5月14日	福岡県商工会議所連合会①	加峯次長	110人
5月29日	福岡県商工会議所連合会②	加峯次長	95人
6月8日	(公財)日本関税協会門司支部	加峯次長	240人
6月19日	株式会社福岡銀行協会	加峯次長	25人
6月21日	自衛隊福岡地方協力本部	加峯次長	30人
6月26日	九州経済白書説明会 in BIZCOLI	加峯次長	26人
7月24日	株式会社九州経済連合会	加峯次長	30人
7月27日	田川地区進出企業協議会	加峯次長	30人
8月5日	日本経営診断学会九州部会	加峯次長	8人
3月1日	北九州市	加峯次長	28人

③九経調セミナー(計3件)

日程	テーマ	講師	参加者数
7月13日	九経調セミナーin 熊本 「九州新幹線開業1年の回顧と2年目以降の展望」	大谷研究主査	39人
7月20日	九経調セミナーin 大分 「再生可能エネルギーの普及促進と関連産業の振興」	田代部長 藤井研究主査	32人
10月26日	九経調セミナーin 沖縄 「クルーズ船の経済波及効果」「震災後の企業立地動向」	上田研究員 加峯次長	87人

注) 自主研究・事業基金を活用した事業

④調査技法セミナー(計1件)

日程	時間	内容	講師
8月30日	13:30-14:30	アンケート調査のイロハ	南研究主査
	14:45-15:45	統計データ入門	松嶋研究員
	16:00-17:30	G I S活用法	高原由之祐氏 (株)マーケット スコープ代表取締役)
8月31日	9:30-10:30	産業連関表入門	蒲池研究員
	10:45-11:45	産業連関表を使った経済波及効果	松嶋研究員

注)調査技法セミナー参加機関

(株)ふくおかフィナンシャルグループ、(株)北九州経済研究所、(株)ちくぎん地域経済研究所、
(株)大銀経済経営研究所、(財)みやぎん経済研究所、(株)鹿児島経済研究所、(一財)山口経済研究所

⑤国の機関および自治体、駐日外国公館等との意見交換会(計9件)

日程	相手先	テーマ	講師
6月1日	中国総領事館経済商務担当領事	九州経済の現状について	大谷研究主査 松嶋研究員 島田研究員
6月14日	オーストラリア総領事館	九州経済の現状	加峯次長
7月27日	長崎県議会経済・雇用対策特別委員会	九州の経済社会状況について	加峯次長 南研究主査 松嶋研究員
8月1日	福岡市企画調整部	福岡市のこれまでの対外施策と今後について	加峯次長
9月5日	アメリカ領事館経済担当領事	昨今の日韓関係が地域経済に及ぼす影響について	森本理事長 加峯次長
11月2日	アメリカ国務省、アメリカ領事館	竹島問題以降の九州・韓国の現状	加峯次長 田代部長
1月30日	アメリカ大使館・領事館 経済担当領事	国境問題と九州経済の動向	加峯次長 田代部長
2月22日	九州地方整備局	九州地方整備局(港湾空港関係)との情報交換会	加峯次長
3月15日	福岡市	高島福岡市長の海外戦略を考える 経済人懇談会	森本理事長 岡野次長

⑥その他の外部講演(当会研究員が講師を務めた講演)(計64件)

講師派遣の依頼先
<p>○依頼元：行政、議会、外国公館 佐賀県統計調査課、熊本県エネルギー政策課、大分県立図書館、宮崎県、鹿児島県地球温暖化対策課、熊本市現代美術館、下関市港湾局、吉野ヶ里町経営者懇談会、長崎県議会、駐福岡大韓民国総領事館</p> <p>○依頼元：大学 愛知学院大学産業研究所、九州大学、九州大学韓国研究センター、九州大学ビジネススクール、熊本大学、西南学院大学、中京大学、福岡国際大学、近畿大学産業理工学部</p> <p>○依頼元：民間 アカデミック・リソース・ガイド、あなぶきハウジンググループ九州栄友会、SMBC日興証券(株)、越智産業(株)、環境・新エネルギービジネスフォーラム&拡大版エコ塾 in 鹿児島、</p>

(社)九州経済連合会、九州コンクリート製品協会、九州・山口地方銀行調査担当部長会議、九州リネンサービス、金剛(株)、(株)佐賀銀行、下関商工会議所、全国賃貸住宅経営者協会連合会、創ネット(株)、地域シンクタンク協議会、東芝セミコンダクター&ストレージ社、(株)東芝九州支社、富山県過疎地域等対策協議会、(株)西日本新聞広告社、(株)西日本新聞社、日本経済新聞デジタルメディア、(社)福岡銀行協会、(公財)福岡アジア都市研究所、福岡県信用農業協同組合連合会、福岡商工会議所、福岡千羽会、福岡地域戦略推進協議会、福岡ロータリークラブ、副都心黒崎開発推進会議、北海道商工会議所、北海道二十一世紀総合研究所、毎日交通(吉田設計(株))、三井物産(株)九州支社、三菱商事(株)九州支社、明治安田生命保険相互会社、(株)リクルートスタッフィング、中国地方総合研究センター、中国電力(株)エネルギー総合研究所

(2)外部講師による講演会

九経調参与会は、当会役員と当会参与である地元官民トップの意見交換を行う場として開催している。平成24年度は「国境をめぐる諸問題」をテーマに開催した。九経調交流会は、特別講演として、「渋滞学者が語る 仕事の無駄とゆとり」を開催した。経済講演会は、「日本経済の再生に向けて」をテーマに開催した。アジア経済講演会は、毎年、ジェトロ・アジア経済研究所から講師を招聘し、海外についての最新情報を提供する「アジア経済講演会」を開催しており、今年度は「フィリピン経済」をテーマに開催した。

①九経調参与会(計1件)

日程	テーマ	講師
12月14日	「国境をめぐる諸問題 ー世界、日本そして九州」	古川浩司氏 (中京大学教授)

②九経調交流会(計1件)

日程	テーマ	講師
2月7日	「渋滞学者が語る 仕事の無駄とゆとり」	西成活裕氏 (東京大学先端科学技術研究センター教授)

③経済講演会(計1件)

日程	テーマ	講師
10月25日	『日本経済の再生に向けて』 「グローバル情報の現状と見通し」 「2012年版経済財政白書～日本経済の復興から発展的創造へ」	秋元諭宏氏 (三菱商事(株)国際戦略研究所副所長) 杉原茂氏 (内閣府大臣官房審議官)

④アジア経済講演会(計1件)

日程	テーマ	講師
2月25日	急成長を遂げるフィリピン経済と新たなビジネスチャンス 「隣国フィリピンの人と社会」 「英語圏社会フィリピンのポテンシャル～グローバル人材育成を中心に」	知花いづみ氏 (日本貿易振興機構アジア経済研究所) 月村滋司氏(ユニバーサルエクスプレスコーポレーション代表取締役)

3. BIZCOLI 事業

平成 24 年 4 月より、従来の経済図書館を引き継ぎ、BIZCOLI として新装開館した。BIZCOLI は、「九州における知の集積・交流・創造拠点」をコンセプトとしている。‘知’を活用して、人の集まる空間づくりに努め、その手段として多くのセミナーを実施した。

(1) ビジネスの最新情報・アイデアの提供

BIZCOLI では、業界専門書籍やマーケティング関連書籍の充実を図り、新聞記事等のインターネットによる検索機能を強化している。さらに、企業の製品や写真、話題の小物を展示し、館内では Jazz、クラシックなどの音楽を流し、多くの人の知的好奇心を刺激することに努めている。映像・商品・専門書などを組み合わせた企画展示なども行っており、ユニークな企業の製品の発表の場にもなっている。平成 24 年度は、企業や団体とのコラボによる展示やセミナーを実施した。

【企業・団体とのコラボ展示】(50 音順)

企業・団体名	展示物など
㈱エフエム福岡	孫文に関する番組のパネル
九州旅客鉄道㈱	九州新幹線全線開通のテレビ CM (DVD)、各種資料
新日鉄住金㈱	新幹線、西日本鉄道用のレール (実物断面)
㈱ゼンリン	アジアから見た九州 (地図)
㈱TVQ 九州放送	経済情報番組「ぐっ！ジョブ」登場企業の映像
㈱西日本新聞	豪雨災害の各写真
西日本鉄道㈱	西鉄電車「1000 系」(模型)
日本航空㈱	国際線ビジネスクラスの新座席「SKY SUITE」
九州各県	プロジェクト、関連資料・商品の紹介
九州経済産業局	農商工連携事業計画の認定商品の展示
九州地方整備局	豪雨災害時の資料展示
九州防衛局	国境付近の状況がわかるパネル
九州アジア経営塾	推薦書籍の紹介
九州大学	素粒子加速器の検出器 (模型)、ビジネススクール推薦書籍
福岡県産業デザイン協議会	福岡県産業デザイン賞受賞作品

(2) ビジネス人脈形成

交流ラウンジでは、会員主催の研究会や勉強会、ビジネス交流等が行われた。また、当会単独主催のセミナー、外部機関やビジネスコミュニティ等と連携したセミナー等多様なテーマで数多く開催し、セミナー終了後には名刺交換会を実施するなど、人脈形成の場と機会を提供している。

(3)スキルアップのための個室空間の提供

BIZCOLI では、企画書作りや資格取得の勉強などに集中できる個室を備えており、ビジネスの関連で利用から、社内昇格試験、資格試験等の自己研鑽を目的とした利用まで、幅広く活用されている。

(4)セミナーの開催

自主研究・事業基金を活用した単独の自主事業として、①九経調イブニングセミナー、②BIZCOLI TALK（月報報告会）の2本の定期セミナーを実施した。また自主事業の他、会員等との共同企画事業として、③経営・スキルアップに関するセミナー、④まちづくりに関するセミナー、⑤その他のセミナーなど、テーマ設定型のセミナーを開催した。平成24年度は、合計63回のセミナーを開催し、のべ1,870人の参加があった。

①九経調イブニングセミナー（計12回）

日程	テーマ	発表者	参加者数
4月26日	第25回【経済波及効果入門～その活用と具体的事例について～】	上田研究員	38人
5月29日	第26回【高齢者向け住宅の市場動向】	片山次長	48人
6月29日	第27回【省エネビジネスの最前線～事例からみる九州企業の取組～】	徳田研究主査	40人
7月25日	第28回【九州の半導体産業と今後の展望】 報告1：九州と東アジアの半導体産業の現状とビジネス展開 報告2：スマホ・タブレットから見た世界の半導体産業の今後	中川研究主査 津村明宏氏（㈱産業タイムズ社 半導体産業新聞 編集長）	38人
8月27日	第29回【九州の再生可能エネルギーの未来】 報告1：九州での太陽光発電システムの展開可能性 報告2：九州の地熱発電の現状と未来	藤井研究主査 田代部長	66人
9月18日	第30回【世界のクルーズ事情とアジアクルーズの動向】	前嶋了二氏（㈱JTB九州コミュニケーション事業部）	42人
10月23日	第31回【肌に良い本物の化粧品とは～無添加化粧品の実態】	崔允聖氏（㈱オーセル技術・製品開発研究所所長）	27人
11月26日	第32回【EUにみる国境を越えた地域連携】 報告1：オレスン（デンマーク・スウェーデン）の地域連携 報告2：ドーバー海峡を挟んだ英仏の地域連携	山下潤氏（九州大学比較社会文化研究院准教授） 加峯次長	19人
12月11日	第33回【動き出す、クルーズトレイン ななつ星 in 九州】	仲 義雄氏（九州旅客鉄道㈱鉄道事業本部 クルーズトレイン本部次長）	67人
1月25日	第34回【“ハラル”で九州を元気にする！ ～九州における「イスラム市場」ビジネスの可能性～】	アクマル・アブ・ハッサン氏（マレーシア ハラル コーポレーション㈱ 代表取締役）	59人
2月21日	第35回【日本のものづくり グローバル・ニッチトップ企業】	細谷祐二氏（経済産業省 地域政策研究官）	24人

3月22日	第36回【九州のグローバル・ニッチトップ企業の企業戦略】 基調講演、事例報告①～③ (九州経済産業局、立命館アジア太平洋大学との共催)	難波正憲氏(立命館アジア太平洋大学 名誉教授) 大竹敏次氏(同 国際経営学部教授) 李根熙氏(同 助教) 藤本 武(同准教授)	32人
-------	---	--	-----

注) 自主研究・事業基金を活用した事業

②BIZCOLI TALK(月報報告会)(計12回)

日程	テーマ	報告者	参加者数
4月26日	第1回【九州経済調査月報4月号】 特集：九州新幹線全線開業1周年	大谷研究主査	35人
5月29日	第2回【九州経済調査月報5月号】 特集：熊本市政令市化	蒲池研究員	19人
6月12日	第3回【九州経済調査月報6月号】 特集：自動車産業 ＜九州の景気＞	平田主任研究員 松嶋研究員	22人
7月9日	第4回【九州経済調査月報7月号】 特集：太陽光発電産業	藤井研究主査	31人
8月7日	第5回【九州経済調査月報8月号】 特集：異業種参入	能本研究主査	14人
9月24日	第6回【九州経済調査月報9月号】 特集：コンテンツ文化産業 福岡クリエイティブ産業のゆくえ～ BIZCOLI TALK 拡大版 Mash up Conference Vol.1	平田武志氏(モンブラン・ピクチャーズ ㈱プロデューサー) 原田拓朗氏(㈱ディー・エル・イー企画 開発室室長) 藤井研究主査 山内泰氏(NPO 法人ドネルモ代表理事) ：コーディネーター	47人
10月15日	第7回【九州経済調査月報10月号】 特集：半導体産業	中川研究主査 小柳研究員	12人
11月9日	第8回【九州経済調査月報11月号】 特集：PFI・PPP 先進企業に学ぶ九州におけるPPPの 可能性 ～BIZCOLI TALK 拡大版	池田寛郷氏(㈱芙蓉商事 営業課長) 須崎 智(㈱芙蓉商事 ねじめ温泉・ネッ ピー館 館長) 上田研究員	67人
12月12日	第9回【九州経済調査月報12月号】 特集：ハラルビジネス	片山次長 松嶋研究員	21人
1月11日	第10回【九州経済調査月報1月号】 特集：大規模商業立地 2013年度九州経済の見通し	松嶋研究員 南研究主査	26人
2月6日	第11回【九州経済調査月報2月号】 特集：ブライダル産業	平田主任研究員	27人
3月8日	第12回【九州経済調査月報3月号】 特集：アジアの高齢化	福田調査役	23人

注) 自主研究・事業基金を活用した事業

③経営・スキルアップに関するセミナー(計23回)

日程	テーマ	講師	参加者数	備考
5月18日 19:00～20:00	「ポケットチーフをビジネスに」	川口祐也氏(フィックスボン・ジャパン ㈱代表取締役)	23人	
6月7日 19:00～21:00	「ウェブマーケティングとは」	井上健太郎氏(㈱グレート・ビーンズ 代表取締役)	12人	会員等との 共同開催

6月21日 19:00~21:00	「リスティング広告×ランディングページ」	井上健太郎氏(㈱グレート・ビーンズ代表取締役)	15人	会員等との共同開催
7月5日 19:00~20:00	「SEO対策×SEM」	井上健太郎氏(㈱グレート・ビーンズ代表取締役)	15人	会員等との共同開催
7月10日 19:00~20:30	「博多久松・おせち通販日本一の秘密」	松田健吾氏(㈱久松 通信販売事業部室長)	18人	
7月13日 19:00~20:30	「プロフェッショナルな生き方」	俣野成敏氏(元シチズン時計㈱上級顧問) 中村正人氏(「ヤリタイコト教育家」)	30人	会員等との共同開催
7月19日 19:00~20:00	「Facebook×ソーシャルメディア」	井上健太郎氏(㈱グレート・ビーンズ代表取締役)	12人	会員等との共同開催
8月23日 14:00~16:00	「経営者・管理職のためのスマートフォンビジネス活用“はじめの一歩”」	伊藤辰彦氏(㈱AliveCast)	8人	
9月20日 14:00~16:00	「経営者・管理職のためのスマートフォンビジネス活用“最新マーケティング手法”」	中村理氏(㈱AliveCast 代表取締役)	8人	
9月25日 14:00~16:00	「なぜ、一部の企業に人が集まるのか? 採用マーケティングの要諦」	熊谷豪氏(H Rdirection㈱代表取締役)	4人	
10月16日 16:30~18:00	「九州焼酎の発展の物語と未来」	中野元氏(熊本学園大学社会福祉学部教授) 豊田謙二氏(熊本学園大学社会福祉学部教授)	32人	
10月24日 16:00~17:30	「なぜ、採った人間が活用できないのか~優秀な人材を見抜く選考設計」	熊谷豪氏(H Rdirection㈱代表取締役)	16人	
11月14日 15:00~17:30	「情報力向上セミナー」	菊池健司氏(㈱日本能率協会総合研究所 MDB) 寺山奈保子氏(日経メディアマーケティング㈱)	44人	
11月21日 18:30~20:00	「消費者の本音はココにある~売れる商品の見極め方」	榎本健次氏(九州志士の会代表・福岡県中小企業診断士協会会長)	23人	
11月27日 18:30~20:00	「ソーシャルメディア採用の成功の裏技」	熊谷豪氏(H Rdirection㈱代表取締役)	10人	
11月29日 18:30~20:00	「一流の仕事術とは」	俣野成敏氏(元シチズン時計㈱上級顧問)	15人	会員等との共同開催
12月12日 18:30~20:00	「イノベーションの作法」	小山龍介氏(㈱ブルーコンセプト代表取締役)	17人	会員等との共同開催
12月19日 18:30~20:00	「ブータン式 最短で『売上を上げる』実践的な新・日本式経営」	脇田勝利氏(九州志士の会理事、㈱ドリームマーケティング 代表取締役)	21人	
1月16日 18:30~20:00	「“脳開で解く”これがわかれば売れて儲かるシクミが創れる」	田上康朗氏(地方産業経営研究所代表)	16人	
1月23日 18:30~20:30	「JAL 再生からみたマネジメントの要諦」	石井欽氏(福岡地所㈱代表取締役)	16人	
2月22日 18:30~20:30	「“仕事に効く”パイロットのリスク管理術」	小川 良氏(日本航空㈱運航本部長付機長)	96人	
3月12日 18:30~20:30	「シャボン玉石けん」にみる企業ビジョンを実現する経営	森田隼人氏(シャボン玉石けん㈱代表取締役)	28人	

3月27日 18:00～19:30	「事例で学ぶ 売れるネット通販の仕掛け」	松尾直幸氏(株Skyward 代表取締役)	16人	
----------------------	----------------------	-----------------------	-----	--

④まちづくりに関するセミナー(計11回)

日程	テーマ	報告者	参加者数	備考
6月8日 19:00～21:00	「渡辺通りより愛をこめて」	大塚ムネト氏(劇団「ギンギラ太陽's」代表) 田村 馨氏(福岡大学教授)	36人	
7月18日 19:00～21:00	「松浦党 かく戦えり」	中田敦之氏(松浦市教育委員会文化財課長)	40人	
7月27日 19:00～20:00	「アビスバのある街」	大塚唯史氏(アビスバ福岡(株)代表取締役)	25人	
8月24日 19:00～21:00	「くまモン」のひ・み・つ	本坂道氏(熊本県大阪事務所長)	38人	
8月28日 18:00～20:30	「報告・九州北部豪雨」	植田剛史氏(九州地方整備局河川部長)	57人	
9月4日 18:30～20:30	「イタリアンカフェ(パール)セミナー」	横山千尋氏(デル・ソーレ パリスタ)	30人	
9月14日 18:30～21:15	映画「ふるさとがえり」上映会	林 弘樹氏(映画監督)	20人	
11月8日 18:30～19:30	「自治体のFacebook活用と地域振興」	加藤たけし氏(ループス・コミュニケーションズ)	38人	
12月17日 18:30～20:00	「九州国立博物館が面白い～博物館経営の新たなモデルを目指して」	廣崎靖邦氏(九州国立博物館振興財団専務理事)	22人	
1月18日 18:30～20:00	「西鉄大牟田線物語」	吉富実氏(西日本鉄道(株)広報室アーカイブ活用課長)	23人	
1月31日 18:30～20:00	「福岡市に見るシティプロモーションのいま」カワイイ区”の先にあるもの」	後山泰一氏(福岡市広報戦略室顧問)	31人	

⑤その他のセミナー(計5回)

日程	テーマ	報告者	参加者数	備考
5月9日 19:30～21:30	「残すこと伝えること 活版と電子書籍」	江藤公昭氏(パピエラボ) 吉田健吾氏(株paperboy&co.取締役副社長)	50人	会員等との共同開催
5月19日 13:00～18:00	「九州公志園(社会イノベーターの発表会)」	九州・アジア経営塾(KAIL)	13人	会員等との共同開催
5月26日 9:30～12:30	「レゴブロックで能力開発」	蓮沼孝氏(ロバート・ラセムセン・アンド・アソシエイツ代表)	24人	会員等との共同開催

6月15日 18:30~20:00	「BIZCOLI の秘密」	高須学氏（インテリアデザイナー） 幅允孝氏（ブックディレクター）	44人	
7月24日 18:00~21:00	「アジアの食の流通」	甲斐諭氏（中村学園大学学長）	40人	会員等との 共同開催

(5) セミナー開催協力

当会は、産学官が開催するあるいは共催するセミナーにも主体的に関わってきた。平成24年度は、韓国 KAIST、九州大学ビジネススクール、電気ビル共創館内の経済団体で構成したアジア市場研究会実行委員会主催による「成長するアジア市場に対する見識と事業戦略の意見交換ならび戦略的協業の可能性の検討」の開催支援や、国際リニアコライダー誘致に向けた「国際リニアコライダー（ILC）とは何か？～背振山地に”小さな宇宙”が誕生する!？」の開催支援、(社)九州経済連合会と九州領事会主催の「九州のグローバル化」シンポジウムへの企画・開催支援を行った。

支援実績(計3件)

日程・場所	主催者	会合名	
9月21日 カンファレンス	韓国 KAIST、九州大学ビジネススクール、アジア市場研究会実行委員会	成長するアジア市場に対する見識と事業戦略の意見交換ならびに戦略的協業の可能性の検討	51名
2月18日 カンファレンス	(社)九州経済連合会、福岡商工会議所、福岡県経営者協会、福岡経済同友会、(財)九州経済調査協会	国際リニアコライダー（ILC）とは何か？～背振山地に”小さな宇宙”が誕生する!？」	250名
3月13日 みらいホール	(社)九州経済連合会、九州領事会	「九州のグローバル化」シンポジウム	250名

4. 経済団体等支援事業

(1) 福岡経済同友会の事務局

福岡経済同友会は10の委員会を設置し、それぞれの委員会活動の実施や提言のとりまとめを行った。

会員数 455名（期首）→458名（期末）
 決算 収入79,375千円（前期繰越収支差額を除くと66,116千円）
 支出66,793千円

平成24年度の主な活動（九州経済同友会を含む）

①提言活動

福岡地域委員会	提言発表「福岡グリーンシティ構想 ～世界にアピールできる水と緑の豊かなまちへ～」
筑後地域委員会	提言発表「筑後農業の更なる飛躍に向けて」
社会貢献委員会	提言発表「『新しい公共』の実現に向けて～NPOと企業の連携～」
東日本大震災対応特別委員会	最終提言発表「日本復興への福岡・九州の貢献」

②その他

福岡経済同友会	<ul style="list-style-type: none"> ・首都・本社機能等誘致委員会を立ち上げ ・福岡市長との意見交換会 ・北欧4国視察会開催 ・第9回関門同友会交流懇談会、「韓国・麗水世界博覧会」視察会開催 ・県立高等学校、市立中学校にて出前講座開催 ・中学生職場体験の紹介、受入を実施 ・「大分大山町農業協同組合」視察会開催 ・世界記憶遺産「山本作兵衛・炭坑記録画」視察会開催 ・第12回札仙広福・四極円卓会議を福岡で開催
九州経済同友会	<ul style="list-style-type: none"> ・九州経済同友会大会 大分にて開催 ・会員合同懇談会にて、ブリヂストン北九州工場を視察 ・九州はひとつ委員会にて、国の出先機関改革や道州制に関する九州地方知事会や九州市長会との意見交換会を実施 ・九州地域戦略会議夏季セミナー 第3分科会（九州における再生可能エネルギーの産業化）事務局運営

*その他講演会、会合など開催 上記を含む総会合数 183回(うち共催・後援 29回)

(2)地域経営を考える政策懇談会(九州経済を考える懇談会)の共同事務局

「地域経営を考える政策懇談会」は、(社)九州経済連合会、(一財)九州地域活性化センター、九州商工会議所連合会、九州経済同友会、九州経営者協会という九州を代表する経済団体のトップが、九州の重要課題や将来展望について自由に議論する中で、問題意識や地域戦略の共有化、及び具現化方策をさぐるものである。平成22年度から(社)九州経済連合会、(一財)九州地域産業活性化センター、(財)九州経済調査協会の3者が共同事務局を組織して運営されている。「地域経営を考える政策懇談会」として、当初予定した10回を開催した後、平成25年1月からは「九州経済を考える懇談会」に名称を変更し、九州経済の現状・将来動向に関する重要課題について、認識の共有を図るとともに、課題解決の方向性について議論を行った。

開催実績(計3件)

No	日程・場所	テーマ
第9回	平成24年6月15日 (社)九州経済連合会会議室	社会資本の整備・拡充
第10回	平成24年9月4日 (社)九州経済連合会会議室	九州における女性労働力等の活用

第 11 回	平成 25 年 1 月 23 日 (社)九州経済連合会会議室	「九州経済を考える懇談会」について
--------	-----------------------------------	-------------------

(3)アジア半導体機構(ASTSA)の事務局

アジア半導体機構 (ASTSA) は、アジアを中心とした海外と九州の半導体関連産業とを繋ぐ仲介役として、平成 18 年に福岡で設立された任意団体である。平成 24 年度は、MAP(半導体実装国際ワークショップ:Microelectronics Assembling and Packaging)等を開催した。

①事務局会合

幹事会

平成 24 年 6 月 1 日

於 福岡市

②ビジネスミッション・海外調査

九州-インドの地域間交流・ビジネスミッション (MOU 締結先:インド半導体協会)

平成 24 年 8 月 5 日~11 日

於 バンガロール、ムンバイ、ゴア等

九州-ベトナムの地域間交流・ビジネスミッション

平成 24 年 8 月 22 日~26 日

於 ホーチミン

九州-マレーシアの地域間交流・ビジネスミッション

平成 25 年 1 月 28 日~2 月 1 日

於 クアラルンプール、パナ等

九州-ベトナムの地域間交流

平成 25 年 3 月 6 日~9 日

於 ホーチミン

③MOU 締結

締結相手:ホーチミン半導体協会

締結日:平成 25 年 3 月 8 日

於 ホーチミン等

④委員会創設

会名:日本(九州)ベトナム半導体ビジネス委員会

Japan (Kyushu) Vietnam Semiconductor Business Committee

創設日:平成 25 年 3 月 8 日

⑤セミナー開催

MAP2012

会期:平成 24 年 10 月 17 日

会場:電気ビル共創館 カンファレンスルーム C

来場者:103 名

新生デバイス実装研究会

会期：平成 24 年 10 月 18 日

会場：アクア博多

来場者：82 名

備考：NPO 法人半導体目利きボード主催、アジア半導体機構共催、
*講師派遣

東アジア半導体ビジネス展開セミナー

会期：平成 24 年 11 月 16 日

会場：電気ビル共創館 5F 九経調会議室

来場者：92 名

備考：九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会主催、
アジア半導体機構共催
*講師派遣

STM セミナー『ベトナム半導体・エレクトロニクス産業の最新動向』

会期：平成 25 年 3 月 8 日

会場：電気ビル共創館 3F カンファレンスルーム C

来場者：75 名

備考：NPO 法人半導体目利きボード主催、アジア半導体機構共催

(4) 地域政策デザイナー養成講座の事務局

「地域政策デザイナー養成講座」（事務局長：谷口博文 九州大学産学連携センター教授）は、地域の具体的な課題を把握し、国内外の情勢や近未来をとらえた広い視野で、地域像をデザインし政策を立案できる人材を「官」「民」を問わず育て、九州地域の発展に貢献することを目的に、平成 22 年度から開始した九州大学セミナーである。九州大学、(社)九州経済連合会、(一財)九州地域産業活性化センター、(株)西日本新聞社、そして当会が実行委員会メンバーとなっている。

①事務局会合

第 8 回実行委員会 4 月 13 日 九州大学箱崎キャンパス産学連携棟 I 会議室
平成 23 年度事業報告及び計算書類の承認、平成 24 年度事業計画（基本方針）、
平成 24 年度収支見通し、実行委員会規程の改正

第 9 回実行委員会 6 月 9 日 JR 博多シティ会議室
平成 24 年度予算、事業計画の進捗状況（報告）

第 10 回実行委員会 2 月 15 日 九州大学箱崎キャンパス産学連携棟 I 会議室
平成 24 年度事業報告及び計算書類の承認について
平成 25 年度事業計画について
平成 25 年度収支見通しについて

剰余金の取扱いと今後の組織運営体制について

②カリキュラム

No	日時・場所	内 容
1	5月26日～27日 休暇村志賀島（合宿）	オリエンテーション 講演「政策デザインの基礎理論」 谷口博文氏 九州大学 教授 講演「人口減少社会と地域成長力」 堀尾容康氏 九州大学 教授 ワークショップ 「ファシリテーション講義」ほか 濱久人氏 パナソニック シニア HRD コンサルタント
2	6月9日 JR博多シティ 九大サテライトキャンパス	開講式 講演「『ベンチャーエコシステム』という新産業育成コンセプト」 孫泰蔵氏 モビータジャパン(株) 代表取締役社長兼 CEO ワークショップ
3	6月23日 糸島市ほか	地域フィールドワーク トークセッション 松本嶺男氏 糸島市長 杉田かおる氏 地域・生活スタイリスト、女優、歌手
4	6月30日 JR博多シティ 九大サテライトキャンパス	講演「超高齢社会に向けてのまちづくりについて」 辻哲夫氏 東京大学 高齢社会総合研究機構特任教授 元厚生労働事務次官 ワークショップ
5	7月14日～15日 唐津市（合宿） 唐津市との共同研究プログラム	講演「女性の活躍による経済・社会・地域の活性化」 岡島敦子氏 内閣府男女共同参画局長 ワークショップ 地域フィールドワーク 講演「地域主権の時代における広域自治体の役割」 古川康氏 佐賀県知事

(5)九州ソーラーネットワーク(SONEQ)の共同事務局

「九州ソーラーネットワーク（SONEQ）」（会長：両角光男 熊本大学理事・副学長）は、九州の太陽光発電関連の企業群と教育機関や行政が一体となって、九州における太陽電池の市場拡大や産業の裾野拡大、地場企業の振興、人材育成などをサポートする産学官民ネットワーク組織である。当会は、九州経済産業局の依頼を受けて昨年度の準備段階から関わり、平成23年6月のSONEQ発足とともにその事務局を務めている。

SONEQは会員制の組織であり、平成25年3月末における正会員（企業等は有料）は91会員、メルマガ会員（無料）は514会員に達している。

① 平成24年度開催実績(計23件)

日程	内 容
5月22日	平成23年度SONEQ研究会フォローヒアリング（九州内2自治体）
6月25日	第1回SONEQ役員会
6月25日	平成24年度SONEQ研究会テーマ選定審査会

6月25日	平成24年度 SONEQ 総会
6月25日	平成24年度 SONEQ 総会記念セミナー
8月8日	平成24年度第1回 SONEQ 会員向け講演会
8月10日	SONEQ ホームページ・リニューアル
8月24日	第1回 SONEQ 遠隔監視・保守サービス研究会
9月10日	第2回 SONEQ 役員会
9月10日	平成24年度 SONEQ 事業化アイデアコンテスト
10月11日～13日	太陽光発電関連見本市「PV九州2012」(エコテクノ2012会場内)
10月12日	「平成24年度太陽エネルギー分野知財&PV九州2012セミナー」 (ブース出展・出展&共同出展正会員の商談会セット&開催)
11月9日	第1回 SONEQ 一般家庭向け PV システムの保守メンテ研究会
11月27日	第2回 SONEQ 遠隔監視・保守サービス研究会
12月10日	事業化アイデアコンテスト・フォローヒアリング (熊本大・熊本市)
12月21日	SONEQ 先進地視察ツアー
2月13日	第3回 SONEQ 役員会
2月13日	平成24年度第2回 SONEQ 会員向け講演会 事業化アイデアコンテストフォローアップセミナー
2月13日	平成24年度 SONEQ 懇親会
2月19日	第3回 SONEQ 遠隔監視・保守サービス研究会
2月27日 ～3月1日	PV EXPO2013 ブース出展 (研究会関連製品及び正会員の製品展示と PR)
3月5日	事業化アイデアコンテスト・フォローヒアリング (九州内自治体)
3月8日	第2回 SONEQ 一般家庭向け PV システムの保守メンテ研究会

その他関連実績

役員会幹事企業・SONEQ 正会員ヒアリング (約 35 件)

産業クラスター連携・交流会 (主催：(一財)九州地域産業活性化センター) への参加

SONEQ 事業内容及び九州の太陽光発電産業関連に関する問い合わせ対応(約 50 件)

(6)九州PPPセンターの活動支援

九州 PPP センターは、PPP 事業の行政側のコンサルタント業務や、地域の人材育成等を行う PPP の専門拠点として、平成 24 年度に設立された。九州大学が 100%出資する産学連携機構九州を中心に、福岡市、(株)福岡銀行、(株)西日本シティ銀行、当会が協力して運営している。

日程	共催、後援	会合名	場所
10月30日	共催 (株)福岡銀行、(株)西日本シティ銀行、福岡市、九州大学、(財)九州経済調査協会)	PPP 実践講座開講式	九州大学医学部百年講堂
2月7日	共催 (九州 PPP センター、(株)野村総合研究所)、後援 (財)九州経済調査協会)	平成 24 年度 PPP 実践講座公開審査会	天神ツインビル

(7) 専門図書館九州地区協議会の事務局

専門図書館九州地区協議会は、加盟機関の相互交流と発展向上を目的に、先進的な図書館の見学や、セミナー活動を行っている。当会の他、福岡アメリカンセンター、(公財)福岡アジア都市研究所、九州各県の議会図書室等が加盟している。

①九州地区関係

会員の異動	入会 0 退会 0 (会員数 17機関)
受入図書資料数	200点
配布資料	255点

開催実績(計3件)

日程	会合等	演題	講師	参加者数
6月4日	理事会・総会(於:福岡市)			
11月8日	見学会	福岡大学新中央図書館		11名
11月8日	第43回情報管理セミナー	企業と生活者の新しいコミュニケーションデザインの模索 ～アサヒ ラボ・ガーデンを事例に～	藤澤聡子氏(アサヒホールディングス(株)企画運営担当)	16名
		ソーシャルメディアを知る・使う! ～Facebookを中心に～	加藤たけし氏(㈱ループ・コミュニケーションズ)	10名

②全国関係

参加実績(計2件)

日程	会合名	場所	テーマ
6月19日	総会	東京都	—
6月19日～20日	全国研究集会	東京都	専門図書館の今日的機能を問い直す

5. 社会貢献活動等

社会貢献活動としては、行政機関・経済団体や大学等への委員や大学への非常勤講師の派遣、テレビ・ラジオへの出演、新聞・雑誌への掲載、国内会議や国際会議への参加を行った。さらに学生インターンシップを受け入れた。

区 分	内 容
委員会等委員派遣	国（九州経済産業局、九州農政局、九州地方整備局）、九州の県・市、大学（九州大学、国公私立大学コンソーシアム・福岡）、民間（㈱九州経済連合会、三菱化学会テクノリサーチ、地域開発研究所）など計 24 機関 56 件
非常勤講師派遣	福岡大学、九州産業大学、中村学園大学、熊本学園大学、北九州市立大学の計 5 大学 8 講座に延べ 9 人を派遣
テレビ・ラジオ出演	計 23 回出演
新聞（電子版を含む）・雑誌掲載	西日本新聞の 92 回を筆頭に、日経新聞 46 回、読売新聞 40 回、毎日新聞 27 回、朝日新聞 16 回など 323 回掲載
国内会議等への参加	九州・山口地方銀行調査担当部長会議、地方シンクタンク協議会九州・沖縄ブロック総会など
国際会議等への参加	境界地域研究ネットワーク「稚内・サハリンセミナー」（稚内・ユジノサハリンスク）、Asian Aging Business Center「上海年長期ケア国際シンポジウム」（上海）、日韓海峡圏研究機関協議会（釜山）、福岡・釜山フォーラム（釜山）
インターンシップ受入	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究部。8月 20～31 日。愛知学院大学学部生 1 名 ・事業開発部 BIZCOLI。9月 18～28 日。九州大学修士 1 名 <p style="text-align: center;">3月 4～15 日。九州大学修士 1 名</p>

6. 組織運営の基盤強化

(1) 賛助会員

平成 24 年度の入会は 52 件、退会は 21 件となったため、期首 465 会員から 31 会員増加して、3 月末の会員数は 496 会員となった。入会数は、BIZCOLI オープン効果もあり、平成 6 年度以降で最多となっている。今後も、BIZCOLI や当会の研究成果を有効に活用して、会員拡大に努めたい。会費実勢額は、平成 25 年 3 月末で 1 億 1,517 万円である。

	合 計	維持会員	普通会員	個人会員	町村会員
平成 24 年度期首	465	73	368	23	1
入 会	52	0	50	2	0
退 会	21	0	17	4	0
増 減	31	0	33	△2	0
会員種別変更	0	0	0	0	0
期 末	496	73	401	21	1

① 会員数 496 会員 (平成 25 年 3 月末)

② 会費実勢額 1 億 1,517 万円 (平成 25 年 3 月末)

(2)BIZCOLI 会員

BIZCOLI 会員（個人）については、BIZCOLI オープンに伴い平成 24 年度より新たに募集を開始した。平成 24 年度の入会は 89 会員、退会 16 会員、休会 10 会員となっており、3 月末の会員数は 63 会員となった。

会費実勢額（月会費×12 ヶ月）は、平成 25 年 3 月末で 528.9 万円である。

	入会	退会	休会	3 月末会員数
BIZCOLI 会員	89	16	10	63

① 会員数 63 会員（平成 25 年 3 月末）

② 会費実勢額 528.9 万円（平成 25 年 3 月末、休会除く）

(3)公益法人改革への対応

平成 24 年 5 月 24 日、内閣府へ公益法人申請前の事前相談、文部科学省へ事前報告。

平成 24 年 5 月 31 日、理事会、評議員会において、新法人移行後の理事・監事、代表理事、業務執行理事、定款、その他移行申請に必要な事項について承認を得た。

平成 24 年 6 月 26 日、内閣府に対して申請。

平成 24 年 12 月 14 日、公益認定等委員会より公益認定基準適合の答申が出される。

平成 25 年 3 月 22 日、内閣府より公益認定通知書類を受領。

平成 25 年 4 月 1 日、公益財団法人 九州経済調査協会への移行登記完了。